News Release



2017年4月5日

簡単・短期間でさまざまな IoT を試せる、実現できる IoT Platform サービス「Things Cloud」の提供を開始

~多彩なウィジェットと API により、ノンプログラミングでの導入や他社連携が可能~

NTT コミュニケーションズ(以下: NTT Com)は、エンド・ツー・エンドで企業の IoT 導入 を実現する「IoT Platform」サービスのラインアップとして、「Things Cloud」を 2017 年 4 月 6 日に提供開始します。

「Things Cloud」は、デバイス接続からデータ収集、可視化、分析、管理など IoT の導入に必要な機能・プロセスを、多彩な機能(ウィジェット^{※1})やさまざまなシーンを想定したテンプレートなどにより、ノンプログラミングで簡単・短期間で実現できる Application Enablement Platform^{※2}です。拡張性やデータ可視化環境を備えており、プロトタイプの作成からその検証、実運用まで、お客さまの IoT 導入を一気通貫で対応します。また、豊富な API により、様々な外部アプリケーションとの連携も容易なため、収集データの高度な分析や、お客さまのビジネス拡大に沿ったシステム拡張にも柔軟に対応可能です。

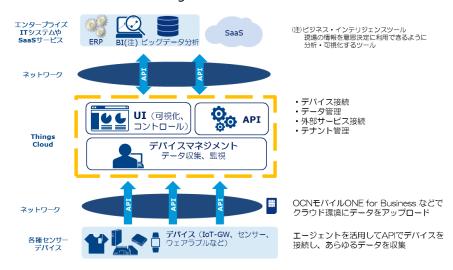
「Things Cloud」は、企業のお客さまの IoT 活用による業務改善や Product as a Service (製品のサービス化) の実現による新たなビジネス創出に向けたシステム開発だけでなく、IoT ソリューション構築ベンダーの方々にも構築・実行基盤として活用いただけます。

1. 背景

企業が IoT システムやソリューションを開発・構築・運用するためには、センサーデバイス、ネットワーク、クラウド、アプリケーションといった多岐に渡る分野の知見が必要となります。また、試行から検証までのプロセスをいかに迅速化するかは、他社に先んじた IoT 活用の事業創出に向けた要件の一つとなっています。

「Things Cloud」を活用することで、こうした複雑なシステムの設計・構築・運用に多くの時間とコストを割くことなく、デバイスとクラウド間を安全かつ簡単に接続してスピーディーなIoTシステム導入を実現できます。

<Things Cloud 活用イメージ>



2. 特長

① シンプルなアーキテクチャと容易なデバイス接続

習熟した高度なプログラミングスキル不要で、エージェント搭載デバイス^{※3} を「Things Cloud」に接続可能(確認済エージェント搭載デバイスは 30 以上)なため、お客さま技術者の学習コストを抑え、モノの可視化までの工程をスピーディーに実現します。

② 目的に合わせてウィジェットを組み替えられるユーザーインターフェイス

IoT向けにデータを可視化できる豊富なウィジェットをあらかじめ取り揃えており、収集 した IoT データの表示やアラームなどの設定、外部アプリケーションとの連携などを、直観 的なユーザーインターフェイスにより簡単に実行できます。

③ フルライフサイクルで IoT 導入をサポート

高い拡張性により、プロトタイプ作成時のトライアルから実運用システムまで、お客さまのビジネスフェーズに最適な環境を提供します。

また、お客さまが個別開発で一から開発/構築する手間を省き、IoT システムに必要な機能群をネットワークやクラウドとシームレスにつながるプラットフォームとして提供します。物流、ビル管理、設備監視、見守り、生産性向上など、さまざまなシーン・用途でデータ分析・可視化(別紙 1 参照)が可能です。

④ 豊富な API

デバイスのデータ取得を含め 100 以上の基本的機能をすべて API として提供します。これによりお客さまの目的に応じて既存の社内システムや外部アプリケーションと連携可能です。IoT による新たなソリューションビジネスを検討している企業にも構築基盤として活用いただけます。

3. 提供料金

初期料金は無料です。月額料金は下記費用をいただきます。

メニュー		月額料金 (税抜)
基本料	データ管理 3GB、API コール 100 万回を含む	¥118,000
デバイス従量	1 デバイス登録毎	¥500
追加サブテナント料	契約後に増設可能なサブテナント毎に必要です。社内組織毎の管理や卸提供に対応します。	¥1,200
追加データ管理料	データ管理 3GB 超過分に対し、100M 毎	¥30
API コール超過料	API コール 100 万回超過分に対し、1 万回毎	¥1,180

- ・お客さまの契約単位(テナント)毎に基本料金が発生します。ユーザー情報、デバイス情報、測定データなど の保持・管理は、契約単位ごとに実施可能です。
- ・Things Cloud に接続するためのインターネット回線が別途必要です。
- ・デバイス(IoT ゲートウェイ機器等)は、別途機器代金が必要です。
- ・API コールは、デバイスからの API コールです。アプリケーションからの API コールは無料です。

4. 提供開始日

2017年4月6日(木)

5. 申込み窓口

当社営業担当者にお問い合わせください。

参考

- ■[別紙 2]NTT Com IoT Platform サービスのラインアップ
- ※1:機能やアプリケーションをグラフィカルに表示したプログラムのパーツです。
- ※2: ウィジェットなど豊富なアプリケーションパーツと API を活用可能なアプリケーション開発・実行基盤です。
- ※3: データ収集のためのプログラムがあらかじめ設定されており、簡単な操作でクラウド環境と接続が可能なデバイスです。

別紙1. Things Cloud 活用例



名称	概要	構成	想定されるお客さま
アセット	コンテナ・フォークリフトパレットなど 屋外移動する無電源アセットの位置を所 有者が把握、管理し、効率化	アセット位置 経路を示す地図 温度計 電池残量通知	物流業者 (コンテナ管理)
空間管理	施設内の温度、湿度、CO2、紫外線、音量等を計測することにより、快適空間創出、省エネ実現	各センサー値表示 センサー位置表示 過去データグラフ 長期データ分析	建築業者 ビル管理会社 学校 図書館
施設利用管理	会議室や飲食店等施設の座席の空き状況 を管理し、利用者の利便性向上、施設利 用率アップ	施設利用者数案内表示 利用状況推移グラフ	会社(総務部) 貸会議室業者 飲食店 図書館
設備監視	工場で使用される製造機器などMODBUS 対応機器を接続し、機器データを取得 故障検知や生産ライン管理により効率化	データ管理・設定画面 センサーデータ表示 センサー制御(デバイス管理画面)	製造機器メーカー 工場 精密機器・医療機器メーカー
HY V	ビル/イベント会場等でトイレの空き状況 を利用者・管理社が把握することで利便 性・安心感向上	利用者向け空き状況表示 管理社向け利用状況集計情報長時間 利用時アラーム	会社(総務部) イベント業者
見守り	通園(学)する学童の位置を把握し、通園 (学)区域から外れたり、危険区域に入り込まないか先生・親が把握することで安全 見守りを実現	学童位置を示すジオフェンス付地図 天候表示 行事予定 週次レポート アラーム一覧 電池残量	私立幼稚園 学校

別紙2. IoT Platform サービスのラインアップ



「Things Cloud」は、デバイス接続からデータ収集、可視化、分析、管理などIoTの導入に必要な機能・プロセスを、ウィジェットやさまざまなシーンを想定したテンプレートなどにより簡単・短期間で実現できる「Application Enablement Platform」です。

Eastan	
Factor'	
I decei	7
	11
パッケー	

Product パッケージ

Vehicle パッケージ

Things Cloud

工場内の 各種センサーデータの 収集・可視化・分析

機器・製品データの収集・可視化・分析

車両稼働状況などの 収集・可視化・分析 Product as a Service の実現・ソリューション 構築ベンダーの構築基盤

アプリライセンス提供

(SCADA/Historian/分析)

SaaS型サービス

SaaS型サービス

Application Enablement Platform